

CLUSTERPRO[®] X *for Windows*

PPガイド

(InfoFrame Streaming Manager)

2012.08.10

第01版

CLUSTERPRO

改版履歴

版数	改版日付	内容
1	2012/08/10	PPガイドより分冊し、新規作成

© Copyright NEC Corporation 2008. All rights reserved.

免責事項

本書の内容は、予告なしに変更されることがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任をおいしません。

また、お客様が期待される効果を得るために、本書に従った導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

本書に記載されている内容の著作権は、日本電気株式会社に帰属します。本書の内容の一部または全部を日本電気株式会社の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは禁止されています。

商標情報

CLUSTERPRO[®] X は日本電気株式会社の登録商標です。

Intel、Pentium、Xeonは、Intel Corporationの登録商標または商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本書に記載されたその他の製品名および標語は、各社の商標または登録商標です。

Oracle Parallel Serverは米国オラクル社の商標です。

その他のシステム名、社名、製品名等はそれぞれの会社の商標及び登録商標です。

目次

はじめに	i
対象読者と目的	i
適用範囲	i
CLUSTERPRO マニュアル体系	ii
本書の表記規則	iii
最新情報の入手先	iv
第 1 章 InfoFrame Streaming Manager	1
機能概要	1
概要	1
機能範囲	2
動作環境	2
インストール手順	2
スクリプト作成の注意事項	6

はじめに

対象読者と目的

『CLUSTERPRO® PPガイド』は、クラスタシステムに関して、システムを構築する管理者、およびユーザサポートを行うシステムエンジニア、保守員を対象にしています。

本書では、CLUSTERPRO環境下での動作確認が取れたソフトウェアをご紹介します。ここで紹介するソフトウェアや設定例は、あくまで参考情報としてご提供するものであり、各ソフトウェアの動作保証をするものではありません。

適用範囲

本書は、以下の製品を対象としています。

CLUSTERPRO X 3.1 for Windows

CLUSTERPRO X 3.0 for Windows

CLUSTERPRO X 2.1 for Windows

CLUSTERPRO X 2.0 for Windows

CLUSTERPRO X 1.0 for Windows

CLUSTERPRO マニュアル体系

CLUSTERPRO のマニュアルは、以下の 4 つに分類されます。各ガイドのタイトルと役割を以下に示します。

『CLUSTERPRO X スタートアップガイド』(Getting Started Guide)

CLUSTERPRO を使用するユーザを対象読者とし、製品概要、動作環境、アップデート情報、既知の問題などについて記載します。

『CLUSTERPRO X インストール & 設定ガイド』(Install and Configuration Guide)

CLUSTERPRO を使用したクラスタ システムの導入を行うシステム エンジニアと、クラスタシステム導入後の保守・運用を行うシステム管理者を対象読者とし、CLUSTERPRO を使用したクラスタ システム導入から運用開始前までに必須の事項について説明します。実際にクラスタ システムを導入する際の順番に則して、CLUSTERPRO を使用したクラスタ システムの設計方法、CLUSTERPRO のインストールと設定手順、設定後の確認、運用開始前の評価方法について説明します。

『CLUSTERPRO X リファレンス ガイド』(Reference Guide)

管理者、およびCLUSTERPRO を使用したクラスタ システムの導入を行うシステム エンジニアを対象とし、CLUSTERPRO の運用手順、各モジュールの機能説明、メンテナンス関連情報およびトラブルシューティング情報等を記載します。『インストール & 設定ガイド』を補完する役割を持ちます。

『CLUSTERPRO X 統合WebManager 管理者ガイド』(Integrated WebManager Administrator's Guide)

CLUSTERPRO を使用したクラスタシステムを CLUSTERPRO 統合WebManager で管理するシステム管理者、および統合WebManager の導入を行うシステムエンジニアを対象読者とし、統合WebManager を使用したクラスタシステム導入時に必須の事項について、実際の手順に則して詳細を説明します。

本書の表記規則

本書では、「注」および「重要」を以下のように表記します。

注: は、重要ではあるがデータ損失やシステムおよび機器の損傷には関連しない情報を表します。

重要: は、データ損失やシステムおよび機器の損傷を回避するために必要な情報を表します。

関連情報: は、参照先の情報の場所を表します。

また、本書では以下の表記法を使用します。

表記	使用方法	例
[] 角かっこ	コマンド名の前後 画面に表示される語 (ダイアログ ボックス、メニューなど) の前後	[スタート] をクリックします。 [プロパティ] ダイアログ ボックス
コマンドライン中の [] 角かっこ	かっこ内の値の指定が省略可能であることを示します。	<code>clpstat -s[-h host_name]</code>
モノスペースフォント (courier)	コマンド ライン、関数、パラメータ	<code>clpstat -s</code>
モノスペースフォント 太字 (courier)	ユーザが実際にコマンドプロンプトから入力する値を示します。	以下を入力します。 <code>clpcl -s -a</code>
モノスペースフォント (courier) 斜体	ユーザが有効な値に置き換えて入力する項目	<code>clpstat -s [-h host_name]</code>

最新情報の入手先

最新の製品情報については、以下のWebサイトを参照してください。

<http://www.nec.co.jp/clusterpro>

第 1 章

InfoFrame Manager

Streaming

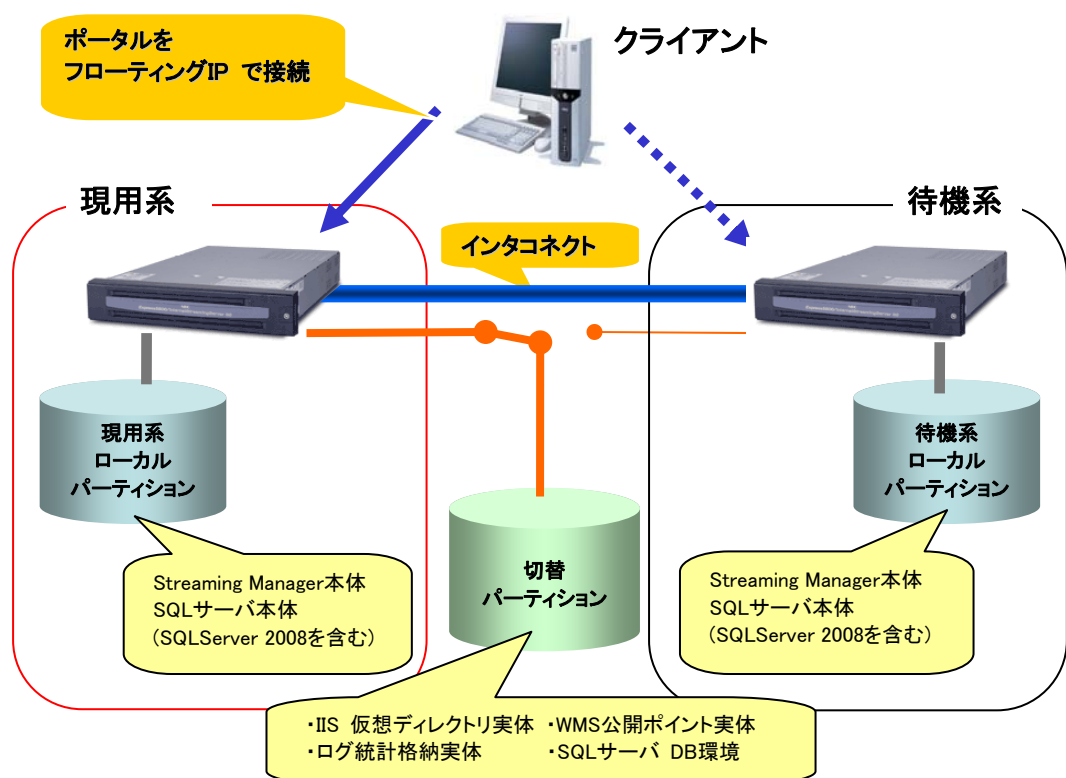
機能概要

InfoFrame Streaming Manager V2.1(以下、Streaming Manager と記載します)は Windows Media のコンテンツの管理から配信までの機能を実現する、オールインワンの小規模向け管理システムです。

本章では、Streaming Manager を CLUSTERPRO 環境下で利用する際の機能概要について説明します。

概要

下図は CLUSTERPRO 環境下での Streaming Manager の運用のイメージです。クライアントは、通常現用系にアクセスします。現用系に障害が発生した場合、待機系がスタートアップのスキriptに応じて立ち上がり、クライアントは待機系に接続し再度運用することになります。



機能範囲

Streaming Manager の運用ガイドを参照してください。

動作環境

Streaming Manager のセットアップカードおよび運用ガイドを参照してください。

動作環境は Windows Server 2003、Windows Server 2008 R2 です。

評価は Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition で行っております。

インストール手順

各サーバ上のローカルパーティションに対し Streaming Manager をインストールします。インストール方法は、通常の方法とは一部異なりますので、下記インストール手順にそって行って下さい。(CLUSTERPRO のフローティング IP の設定および、切り替えパーティション構築や設定については CLUSTERPRO リファレンスガイドを参照して Streaming Manager をインストールする前に行ってください)

本章では 2 ノード構成のクラスタでの片方向スタンバイ環境を想定して説明を行っています。

インストールは現用系から待機系の順番で行います。

1. IIS デフォルト仮想ディレクトリの変更
Streaming Manager をインストールする前に行う必要があります。
 - (a) 「スタート」—「管理ツール」より、インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャを起動します。
 - (b) Default Web Site※を右クリックして「Web サイトの管理」—「詳細設定」を選択してください。

※ IIS に登録される Web サイトは Streaming Manager をインストール時に指定したポート番号の設定によって Web サイトの名称および作成数が異なります。詳細は「インストールガイド」を参照してください。以後の例では 80 番ポートをそれぞれ選択したものとして記載しています。

 - (c) 「全般」—「物理パス」のローカルパスをコンテンツを格納する切り替えパーティションのパスに変更してください。(例)h:\inetpub\wwwroot
- ※ 変更先のディレクトリを作成した際に USERS の書き込み権を追加してください。以下、ディレクトリを作成した際にも同様にしてください
2. WMS デフォルトの公開ポイントの変更
 - (a) 「スタート」—「管理ツール」より、Windows Media サービスを起動します
 - (b) 「公開ポイント」—「<規定>(オンデマンド)」より「ソース」タグを押してください。
 - (c) 「変更」ボタンを押してコンテンツを格納する切り替えパーティションのパスに変更してください。(例)h:\wmpub\wmroot

- Streaming Manager のインストール
Streaming Manager のセットアップカードを参照して、インストールを行ってください。この際、インストール後のマシンの再起動は行わないでください。
インストール場所は OS が入っているマシンに行き、インストール中の設定は以下を参照に行ってください。

インストール中の設定例

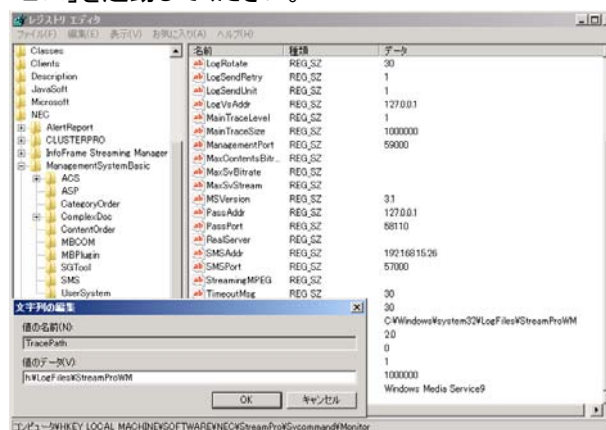
	デフォルト	設定値
Web管理ポータルポート	80	8888
Webユーザポータル	80	80
データベースタイプ	MSDE/SQLServer2005	MSDE/SQLServer2005
ユーザ認証	連携しない	連携しない

- ログ収集サービスの設定
「スタート」—「プログラム」—「Streaming Manager」—「ログ収集サービス設定」を選択し、集計ログ出力ディレクトリを切り替えパーティションのパスに変更してください。
(例)h:¥LogService¥Logs
- SQL サーバ(SQLServer 2008)のインストール、設定
マニュアル、ヘルプを参照して、SQL サーバ(SQLServer 2008)を OS が入っているマシンにインストールしてください。
Streaming Manager インストールガイドの「データベースのインストール」を参照して、データベースへ登録をおこなってください。
この際、設定ファイル内 StreamingManagerV1_1.sql の指定は、切り替えパーティションのパスに変更してください。

(例) ...FILENAME = N'h¥DataBase¥...
- SG 設定ツールの設定
管理、ストリーミングサーバの IP アドレス指定には、ポータルに接続するフローティング IP を指定してください。
- ログ統計の設定

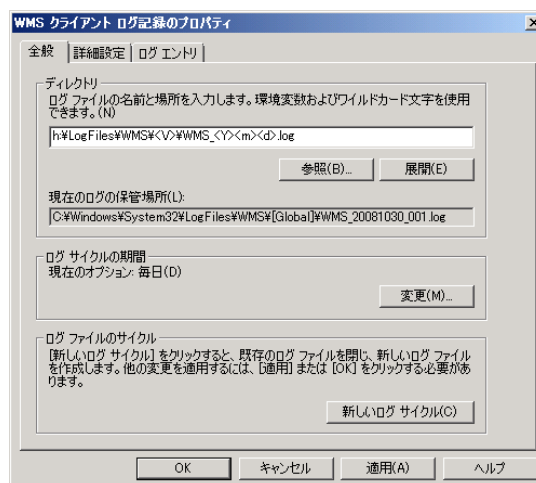
(a) 「スタート」—「管理ツール」から「サービス」を起動してください。

- (b) 「マイコンピュータ」—「HKEY_LOCAL_MACHINE」—「SOFTWARE」—「NEC」—「Svcommand」—「Monitor」から「TracePath」のデータを切り替えパーティションに保存したいディレクトリを入力してください。
例)h:¥LogFiles¥StreamproWM



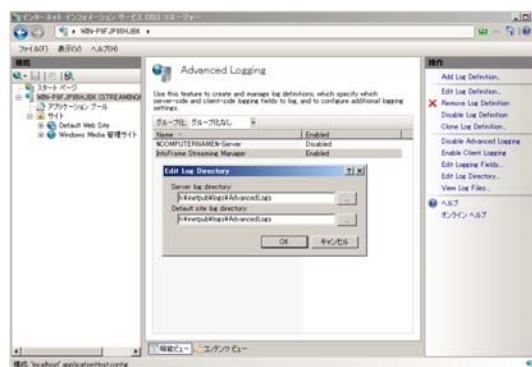
- (c) 「スタート」—「設定」—「コントロールパネル」—「管理ツール」より、Windows Media サービスを起動します。
- (d) Windows Media サービスツリーのマシン名から「プロパティ」—「ログ記録」から「全般」タグの「ディレクトリ」に保存したい箇所のパスを入力してください。

例) h:\¥LogFiles¥WMS¥<V>¥WMS_<Y>
><m><d>.log



8. IIS Advanced Log の設定

- (a) 「スタート」—「管理ツール」より、インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャを起動します。
- (b) 「機能」ビューから「AdvancedLogging」※を選択します。
※日本語版利用時は「詳細ログ」となります。
- (c) 「Edit Log Directory」※から、ログディレクトリを保存する箇所のパスを入力してください。
※日本語版利用時は「ログディレクトリの編集」となります。



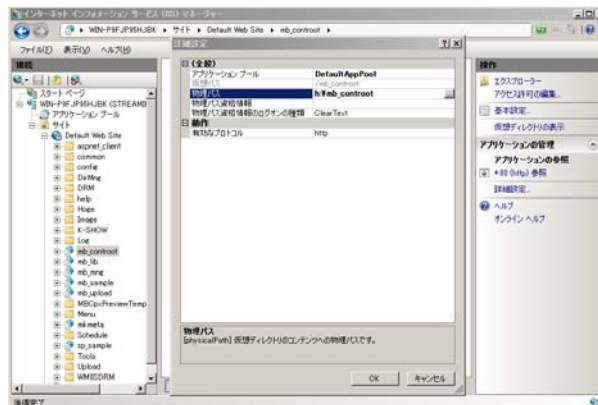
例) h:\¥inetpub¥logs¥AdvancedLogs

9. mb_controot の設定

(a) 「スタート」—「管理ツール」より、インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャを起動します。

(b) 「Default Web Site」から「mb_controot」を選択し「詳細設定」を選択します。

(c) 「物理パス」にコンテンツを保存する箇所のパスを入力してください。
例)h:¥mb_controot



10. サービスの手動設定

以下のサービスを自動から手動設定に変更してください。

表示名	サービス名
Windows Media Services	WMServer
IIS Admin Service	IISADMIN
World Wide Web Publishing Service	W3SVC
SQL Server (SQLEXPRESS)	MSSQL\$SQLSERVER
InfoFrame Streaming Manager Administration	MB_ADMIN
InfoFrame Streaming Manager Log Collection Server	MB_LCS

11. 待機系切り替え

CLUSTERPROより現用系から待機系に切り替え、1～10 までの手順を待機系に実施してください。

スクリプト作成の注意事項

スクリプトの作成は不要です。サービスの起動順序を以下のように設定してください。

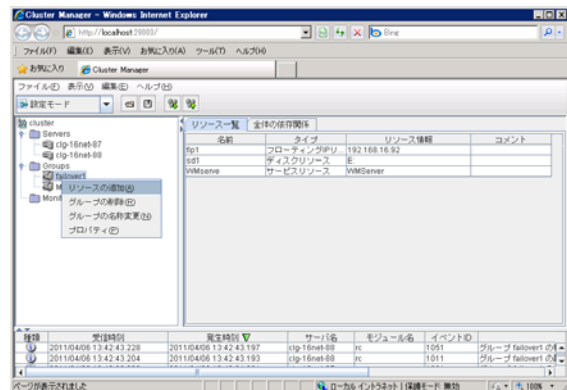
下記設定では IIS に対して、Streaming Manager の最低限必要な依存関係を考慮してサービスを設定していますが、W3SVC / IISADMIN 以外に IIS に依存しているサービスを使用する場合はそのサービスも起動・停止するように設定する必要があります。

表示名	サービス名	依存するサービス
Windows Media Services	WMServer	fip1
IIS Admin Service	IISADMIN	WMServer
World Wide Web Publishing Service	W3SVC	IISADMIN
MSSQLSERVER	MSSQL\$SQLSERVER	W3SVC
InfoFrame Streaming Manager Administration	MB_ADMIN	MSSQL\$SQLSERVER
InfoFrame Streaming Manager Log Collection Server	MB_LCS	MB_ADMIN

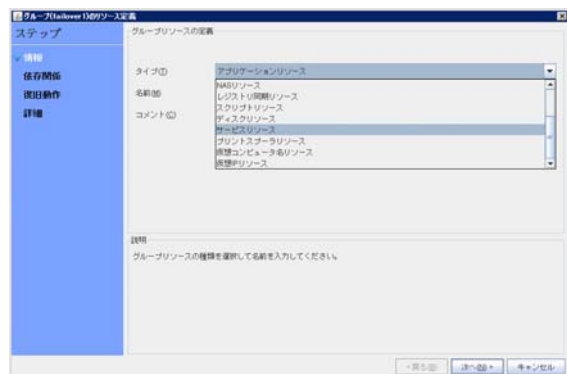
1. サービスの起動順序の設定

(a) CLUSTERPRO の管理 GUI にて 操作モード から 設定モードに変更してください。

(b) Cluster ツリーの「Groups」- 「failover1」を選択し、「リソースの追加」を選択します。

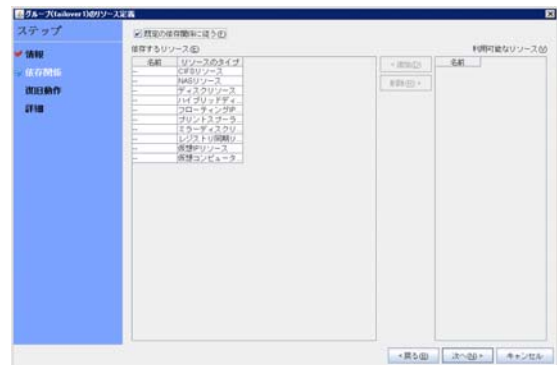


(c) 「タイプ」から「サービスリソース」を選択して、「次へ」を押してください。

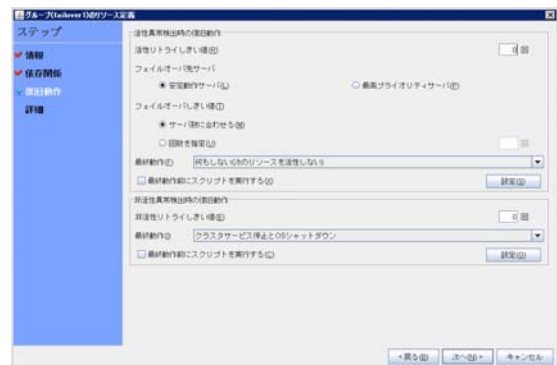


- (d) 「既存の依存関係に従う」のチェックを外し、「依存するリソース」に依存するサービスの名前を追加して「次へ」を押してください。

(例)MB_ADMIN

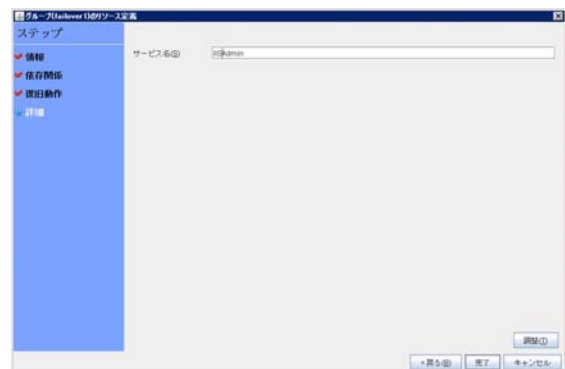


- (e) 「復旧動作」画面では「次へ」をおしてください。

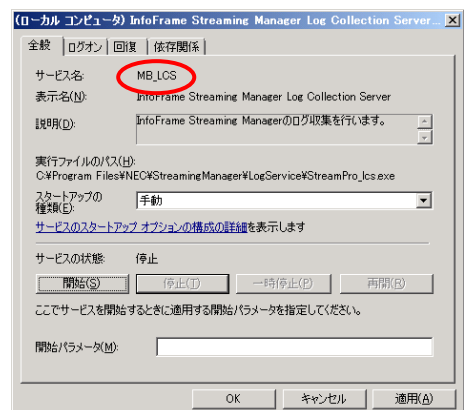


- (f) サービス名に追加するサービス名を入力してください。

例)MB_LCS



※サービス名は「スタート」―「設定」―「コントロールパネル」―「管理ツール」から「サービス」を起動して追加するサービス上で右クリックをしてプロパティを選んでください。



- (g) 完了後「ファイル」―「設定の反映」を行ってください。
※詳細は CLUSTERPRO のマニュアル等を参照してください。